

別記
第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

| | |
|--|--|
| (宛 先) 京 都 府 知 事 | 令和5年 6月 20日 |
| 住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 大阪市西区新町2丁目15番27号 | 氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） サンキン株式会社 代表取締役社長 田 貴晴 06-6539-3200 |
| 環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称 | ISO14001 |
| 適 用 範 囲 | サンキン株式会社 福知山工場 長田野工場 |
| 導 入 年 月 日 | 2002年 2月 11 |
| 認 証 番 号 | CI/1072E |
| 基 本 方 針 | 省エネ、廃棄物の削減とリサイクル、有益な環境側面等に目的・目標を定め継続的に改善し環境にやさしいエコ製品の提供に努めます。環境法令等、遵守し環境保全活動、環境汚染の未然防止、環境負荷の低減に努めます。 |
| 環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。） | (省エネルギーCO2の削減) 76期比原単位1% (1.975kgco2/tの削減) 部門実績合計148tco2/年間削減 (生産性) 生産性の向上一人一分当たりの生産量1.45kg/分以上 (歩留) 歩留の向上 92.5%以上 不適合率の低減 0.34%以下 |
| 目標を達成するための取組の内容 | (省エネルギー) 副資材使用低減によりCO2の削減を図る。主な取り組み内容として原価意識を持ち全員参加による節約・経費削減1件/月以上への取り組み、エアリークの撲滅、潤滑油槽及び配管の保温、設備空運転撲滅に取り組んで行く。 (生産性・歩留の向上) 各種改善活動の実施、設備更新 |
| 目標を達成するための取組の進捗状況 | (省エネルギー) 原価意識を持ち全員参加による節約・経費削減1件/月以上への取り組み、エアタンク増設によるコンプレッサへの負荷低減、エアリーク・スチーム漏れの撲滅、潤滑油槽及び配管の保温に取り組んだ。今後も継続的に消費エネルギー削減に取り組んで行く。 (生産性・歩留の向上) 各種改善活動の継続的な実施、設備更新及び改造 |
| 目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価 | (省エネルギーCO2の削減) 76期比原単位1%の削減目標に対し5.30%減で達成 部門実績合計148tco2/年間削減の目標に対し150.52%削減で達成 (生産性・歩留) 生産性の向上一人一分当たりの生産量1.45kg/分以上 (実績1.41kg/分)、歩留の向上92.5%以上 (実績92.32%)、不適合品率の低減0.340%以下 (実績0.341%) |
| 事業活動に係る法令の遵守の状況 | 法令遵守状況等問題ありません。 |
| 環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容 | 評価・見直しについて1回/年実施し継続的な改善を実施している。外部審査においても不適合はありません。前年度において、現行の目標及び取組内容により一定の成果が見られたことから、今年度も同一のシステムにより運用することとした。 |

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。